



# 山形県感染症発生動向調査

平成30年第17週(4月23日~4月29日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)  
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486  
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>  
 2018年5月2日 発行

## <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※◎:警報レベル ○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第16週	第16週	第17週	増減	第16週	第17週	増減	第16週	第17週	増減	第16週	第17週	増減	第16週	第17週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	8690 1.76	310 6.46	188 3.92	▽	102 5.10	59 2.95	▼	36 7.20	15 3.00	▽	138 ◎13.80	96 9.60	▽	34 2.62	18 1.38	▼	16018
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1285 0.41	36 1.20	21 0.70	▽	2 0.15	2 0.15			1 0.33	△	34 5.67	18 3.00	▽				261
咽頭結膜熱	1079 0.34	15 0.50	13 0.43	▽	3 0.23	6 0.46	▲		2 0.67	△	11 1.83	3 0.50	▽	1 0.13	2 0.25	▲	234
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8391 2.66	112 3.73	119 3.97	▲	53 4.08	56 4.31	▲	11 3.67	4 1.33	▽	35 5.83	51 ◎8.50	▲	13 1.63	8 1.00	▽	2052
感染性胃腸炎	19614 6.21	224 7.47	235 7.83	▲	118 9.08	104 8.00	▽	32 10.67	49 16.33	▲	24 4.00	29 4.83	▲	50 6.25	53 6.63	▲	2441
水痘	924 0.29	9 0.30	15 0.50	△		9 0.69	△	1 0.33		▽	6 1.00	4 0.67	▼	2 0.25	2 0.25		210
手足口病	783 0.25	7 0.23	7 0.23		6 0.46	6 0.46					1 0.17	1 0.17					238
伝染性紅斑	382 0.12	9 0.30	3 0.10	▽	1 0.08	1 0.08					8 1.33	2 0.33	▽				78
突発性発しん	1693 0.54	18 0.60	23 0.77	△	1 0.08	6 0.46	△	1 0.33	2 0.67	△	7 1.17	10 1.67	△	9 1.13	5 0.63	▽	240
ヘルパンギーナ	88 0.03		2 0.07	△		2 0.15	△										31
流行性耳下腺炎	448 0.14	5 0.17	4 0.13	▽		2 0.15	△	2 0.67		▽	1 0.17	1 0.17		2 0.25	1 0.13	▽	49
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	29 0.04																
流行性角結膜炎	550 0.79	1 0.13	1 0.13		1 0.25		▽								1 0.50	△	16
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	246 0.52	4 0.40		▽	3 0.75		▽	1 1.00		▽							16
クラミジア肺炎	3 0.01																
マイコプラズマ肺炎	57 0.12	3 0.30	1 0.10	▽	3 0.75	1 0.25	▽										48
細菌性髄膜炎	14 0.03																4
無菌性髄膜炎	12 0.03	1 0.10		▽										1 0.33		▽	3

## <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
アメーバ赤痢	患者				1	
侵襲性髄膜炎菌感染症	患者	1				ワクチン接種歴:無し。
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	1				ワクチン接種歴:不明。
梅毒	患者			1		
百日咳	患者	5				※内、第16週追加報告 2件。ワクチン接種歴:4回 5件。小児 5件。
つつが虫病	患者		1			※第16週追加報告分。

## <通信欄>

※インフルエンザの迅速キットによる型別は、A型:157件、B型:29件、不明:2件でした。  
 集団発生は、村山地区 1件(幼稚園・保育所:1)、置賜地区 3件(小学校:2、高校:1)でした。  
 ※トピックスで、つつが虫病、感染性胃腸炎について掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ		6	14	13	16	13	8	4	7	11	7	26	9	8	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	13	10	7	7	1	8									188
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	1	4	9	4	1	2									21
咽頭結膜熱		1	5	2	3	2									13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			6	12	16	17	14	13	15	5	8	12		1	119
感染性胃腸炎	2	19	46	21	27	19	26	13	14	10	11	18	2	7	235
水痘		1			2	4	1	1	1	2	2	1			15
手足口病		1	3	1	1										7
伝染性紅斑						1		1		1					3
突発性発しん		11	11		1										23
ヘルパンギーナ						1	1								2
流行性耳下腺炎						2					1		1		4

< 平成30年3月 月報 >

2018年4月18日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～3月	
	2月	3月	2月	3月	2月	3月	2月	3月	2月	3月		
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	19	22	9	4	7	11		2	3	5	60
	定点当り	1.90	2.20	2.25	1.00	7.00	11.00		1.00	1.00	1.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	11	8	1	2	4	2	3	3	3	1	28
	定点当り	1.10	0.80	0.25	0.50	4.00	2.00	1.50	1.50	1.00	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	2	3	1	1				1	1	1	8
	定点当り	0.20	0.30	0.25	0.25				0.50	0.33	0.33	
淋菌感染症	報告数		4		1						3	7
	定点当り		0.40		0.25						1.00	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	6	9			1	2	2	2	3	5	18
	定点当り	0.60	0.90			1.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	13	21	5	13		1	2	1	6	6	54
	定点当り	1.30	2.10	1.25	3.25		1.00	1.00	0.50	2.00	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											
	定点当り											

<トピックス>

【つつが虫病情報】

第16週に今年2例目のつつが虫の報告がありました。4月の報告数としては、2006年以降で最も多い報告数となりました。山形県では、春から初夏にかけて多く発生しますので注意が必要です。

【症状】

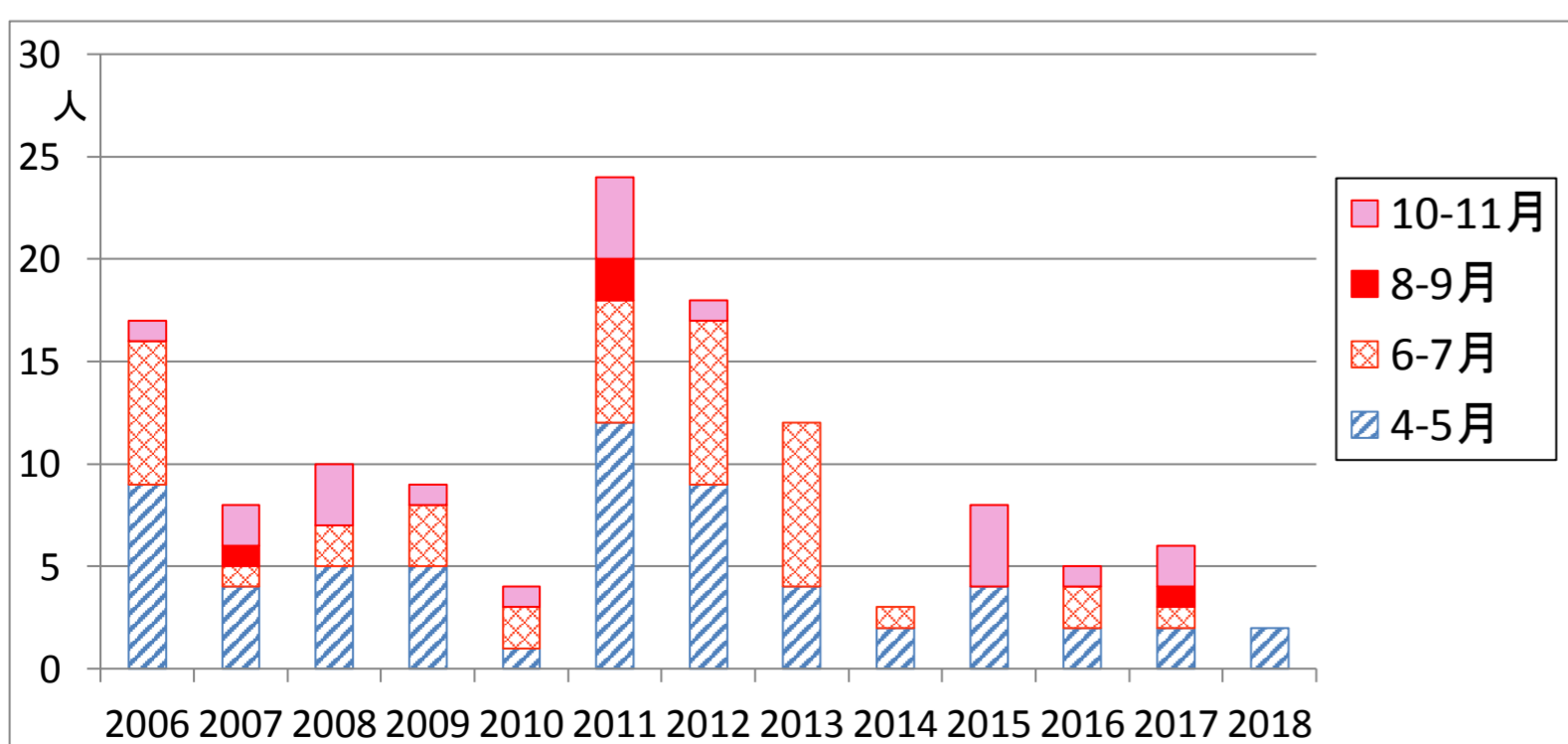
発熱(38～40℃)、発疹、ツツガムシ幼虫の刺し口が見られることが特徴です。これらの症状は、ツツガムシ幼虫に刺されてから5～14日後にみられます。

【予防法】

- ツツガムシは、田畑、山林、やぶ、河川敷、草原などに生息しています。これらの場所に立ち入るときは、次のようなことを心がけることが大切です。
- ①長袖、長ズボン、長靴、手袋などを着用し、素肌をできるだけ露出しない。
  - ②ダニ忌避剤、防虫剤を衣服に散布する。
  - ③なるべく草むらに直接座らない。
  - ④帰宅したら早めに入浴し、ツツガムシ幼虫を洗い流す。

【つつが虫病報告数(山形県)】

※2018年は第17週までの累計



※つつが虫病についてのパンフレットはこちらからダウンロードできます

<http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/> (衛生研究所HP)

【感染性胃腸炎情報】

第17週の県平均定点当たり報告数は、7.83人であり、2018年で最も多い報告数となっています。

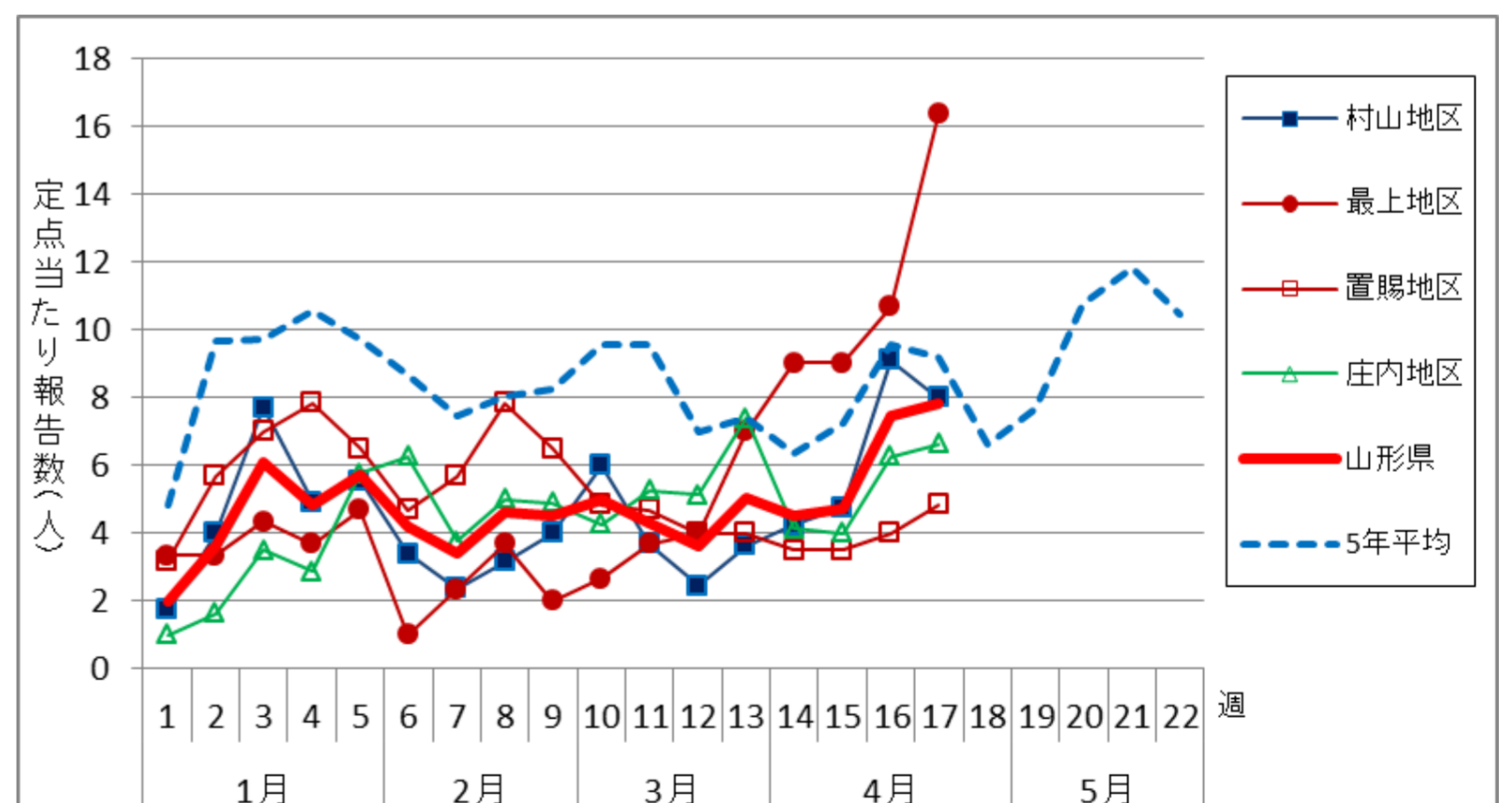
・感染性胃腸炎

警報開始基準値:20人 警報終息基準値:12人

・第17週 定点当たり報告数(山形県:7.83人)

村山:8.00人 最上:16.33人 置賜:4.83人 庄内:6.63人

・感染性胃腸炎 定点あたり報告数 (山形県)



【症状】

病原体によって異なりますが、主な症状は嘔吐、下痢、発熱です。治療は、ウイルス性のものであれば対症療法が中心となります。

【予防法】

最も重要で、効果的な予防法は「流水・石鹼による手洗い」です。トイレ後、外出後、調理前、配膳前、食事前など、こまめに手洗いをしましょう。